

## 頻発する実弾演習火災！



米軍キャンプハンセン内にて頻発する山火事に再三の抗議要請にもかかわらず改善が見られず、遺憾であると要請書を手渡す。

恩納村議会基地問題対策委員会は10月4日、米軍キャンプ・ハンセン（レンジ7）内で実弾射撃演習による山火事が頻発している問題で、過去に何度も抗議・要請したにもかかわらず改善が見られず、遺憾であるとして、沖縄防衛局に対し、抗議と要請を行った。

### 防衛局に抗議と要請

意見書による要請項目は、4項目であるが、議長はじめ、基地問題対策委員より、口頭による意見や要請も行われた。これに対し、沖縄防衛局の武田博史局長より、4項目にたいする、次のような主旨の説明と回答があった。

#### 記

（要請1） 焼失した山林の緑の再生に特段の配慮をすること

防衛局の回答

火災により緑を焼失した部分には、草木の種子を蒔き緑を回復し、赤土流出対策等を講じるよう米軍に要請している。

（要請2） 米軍は消化体制の迅速化を図ること

防衛局の回答

米軍の消防隊による出動体制やヘリによる消化体制など、常時、緊急態勢を整え準備している。

（要請3） キャンプ・ハンセン内の防火体制を強化すること

防衛局の回答

恩納村側（レンジ7）において、消火用道路を造る計画があり、26年度着工の予定である。

（要請4） 現場の立入調査を許可すること

防衛局の回答

役場担当課を通し、要請があれば対応する。



火災によりレンジ7内から煙が立ち上がる

記事担当 又吉 薫

### 編集後記

恩納村と北海道の石狩市は10月21日友好都市協定を結びました。

昭和62年に沖縄県で開催された「海邦国体」のソフトボール協議の開催地が縁でお付き合いが始まりました。平成2年から中学生がお互いを訪問しての交流や民泊体験、スポーツ体験交流など20年以上の交流が続いてきました。友好都市だけでなく災害時応援協定も調印されました。これからは子どもたちだけでなく村民の皆様も一緒になって文化交流や親善を深めて末永い友好関係を築いていきたいものです。

記事担当 長浜 善巳

■ 発行：恩納村議会

住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地

■ 編集：議会広報委員会 電話 (098) 966-1199

メールアドレス：gikai@vill.onna.okinawa.jp